

授業科目	授業番号： 267			担当者	田邊 しずか
	服飾文化史			授業外対応	適宜対応
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修/選択]	[授業形態]
	2年	後期	2単位	選択	講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】西洋と日本の服飾文化史、現代衣生活の成り立ち</p> <p>【概要】西洋と日本に分けて古い時代からの変遷を辿り、形態的特徴だけでなく、社会的、文化的背景を踏まえて服飾の歴史を学ぶ。毎回の授業でのコメントペーパーでは指定されたテーマについて小さなレポートのように書くことで、論理的な文章を書く能力を伸ばす。授業は大きく分けて三部構成である。【第一部】西洋服飾史、【第二部】日本服飾史、【第三部】服飾文化史を捉える上で重要なテーマに関する西洋と日本の服飾</p> <p>【到達目標】西洋と日本の服飾の歴史、形態的特徴とその背景を理解する。多様な文化、服飾観を学ぶことによって、現代衣生活や今後の可能性について考え、自分なりの見解を持つことができる。</p>				
学生の主体的・対話的な学び	提出されたすべてのコメントペーパーに対して、必要に応じて解説を含むコメントを記します。				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリントを配布，一部 Web でも公開</p> <p>(2) 深井晃子（監修）『増補新装カラー版 世界服飾史』，美術出版社，2010. 増田美子（編）『日本服飾史』，東京堂出版，2013.</p>				
授業 スケジュール	<p>第 1 回 ガイダンス、服飾文化史の資料（史料）、衣服の起源と機能</p> <p>第 2 回 西洋服飾文化史 1：古代の地中海世界（エジプト、ギリシャ、ローマ）</p> <p>第 3 回 西洋服飾文化史 2：中世</p> <p>第 4 回 西洋服飾文化史 3：16 世紀</p> <p>第 5 回 西洋服飾文化史 4：17 世紀前半（オランダ）、17 世紀後半（フランス）</p> <p>第 6 回 西洋服飾文化史 5：18 世紀（フランス）</p> <p>第 7 回 西洋服飾文化史 6：19 世紀、衣服に関する産業の発展</p> <p>第 8 回 服飾文化史のテーマ 1：オートクチュールとプレタポルテ</p> <p>第 9 回 服飾文化史のテーマ 2：異性装</p> <p>第 10 回 服飾文化史のテーマ 3：異国趣味</p> <p>第 11 回 日本服飾文化史 1：古代の衣服、服制の時代</p> <p>第 12 回 日本服飾文化史 2：きもの基礎知識、きもの変遷</p> <p>第 13 回 日本服飾文化史 3：染織、文様、明治以降のきもの</p> <p>第 14 回 日本服飾文化史 4：洋装化－明治、大正、昭和</p> <p>第 15 回 西洋・日本：戦中・戦後、現代の服飾文化</p>				
授業外学習 (予習・復習)	適宜提示（予習・復習のためのキーワードや参考文献を提示）				
成績評価の方法	授業毎のコメントペーパー（50%）、期末レポート（50%）				
実務経験について	なし				